災害科学国際研究所
IRIDeS
International Research Institute of Disaster Science

第 92 回 日本内分泌学会学術総会にて研究成果を発表しました（2019/5/9-11）

テーマ：災害医学、内分泌学、災害ストレス
場所：仙台国際センター

５月９日～11 日の３日間「第 92 回 日本内分泌学会学術総会」が開催されました。当研究所からは、災害医学研究部門 災害産婦人科学分野の伊藤 潔 教授と三木康宏 講師が参加しました。両名は組織委員としても会の準備段階から携わり、会の企画・運営に協力してきました。伊藤教授は教育講演にて、当研究所全体の取り組みから災害医学研究部門の成果、災害産婦人科学分野の研究についての紹介を行いました。また、三木講師はシンポジウムにて、災害ストレスの人体への影響としてのホルモンシグナルに関する基礎研究について報告しました。さらに災害産婦人科学分野が取り組んでいるホルモンシグナルの分子メカニズムに関して、三木講師が一般演題（ポスター）として発表しました。演題名他は下記の通りです。本会には海外からの研究者も多数参加しており、三木講師が技術指導した Chulalongkorn 大学（タイ）の学生も International Session にて発表しました。災害産婦人科学分野では、災害ストレスがホルモン動態を攪乱し、女性生殖器へ及ぼす影響を研究しています。今回の各発表において、下垂体、甲状腺、膵臓や副腎などの他の内分泌臓器を対象とする研究者と議論・交流を深めることができ、内分泌学における新たな観点である災害ストレス研究の重要性を提唱することができました。

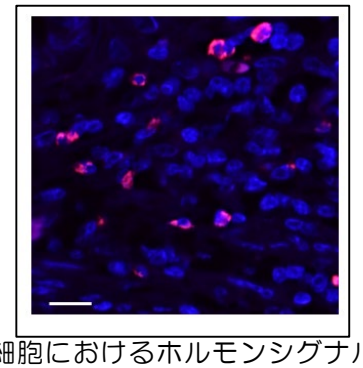
教育講演：**災害科学、災害医学、そしてホルモン－災害科学国際研究所での取り組みを中心に－**
伊藤 潔、三木康宏

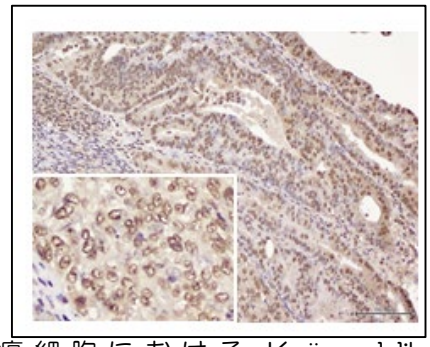
シンポジウム：**ホルモン依存性癌におけるホルモンシグナルの可視化**
三木康宏、岩渕英里奈、鈴木 貴、笹野公伸、伊藤 潔

一般演題：子**宮内膜癌におけるステロイドホルモンと** Krüppel-like factor 5 **の発現**
三木康宏、吉田怜奈、髙木清司、鈴木 貴、伊藤 潔

（下線は、当研究所所属教員）

伊藤教授（教育講演）


細胞におけるホルモンシグナル（赤いドットはエストロゲン活性が起こっていることを示している）（シンポジウム）


癌細胞における Krüppel-like factor 5 の発現（茶色が Krüppel-like factor 5 の発現を示している）（一般演題）

文責：三木康宏（災害医学研究部門）